

## 車上ねらいの事例を用いた犯罪発生場面の基礎的研究

長澤 秀利\*・細江 達郎

### A Study on the Factors of Criminal Situations of Thefts from Cars

Hidetoshi NAGASAWA and Tatsuro HOSOE

The present study was planned to investigate the factors of criminal situations of thefts from cars in detail, which were characteristics of residential blocks, streets, places parking cars and cars thieves could easily thief. Date analysis was relied upon 20 cases on thefts from cars collected from the documents which were kept in Iwate Prefectural Police Headquarters. I also observed crime scenes of these cases. As a result, the situational factors most thieves could easily thief were (1) difficulty in being caught in the act of searching cars as targets, (2) anonymity of areas and places parking cars as targets, (3) ease of access, (4) ease of escape, (5) sight of objectives to steal in cars, and (6) unlocked doors of cars.

#### 1 問題

##### 1 犯罪研究における犯罪発生場面研究の位置

犯罪行動の生起の原因については、これまでに多くの研究者が様々な接近のレベルや視点から論じてきている。この点について、Sutherland, E.H. and Cressey, D.R. (1960) は、犯罪行動の科学的説明には、犯罪者の生活史で働いた過程を見る「歴史的」説明と犯罪発生時に働いた過程を見る「状況的」説明があるとしている。前者は、犯罪者が持つと予想される内的性質やその形成過程に視点を置くもので、後者は、そのような性質を持った行為者がどのような状況で犯行を生起させるのかということに視点を置くものである。従来この犯罪研究では、歴史的な視点からの研究が主として行われてきており、犯行の生起する状況、すなわち犯罪発生場面的な視点からの研究はあまり行われてきていない。この理由については、犯罪研究における多くの見方として、犯罪の原因を行為者の内的な一貫性に求める傾向が強いこと、また、方法上の問題として、犯罪発生場面やそれに関わる加害者や被害者への接近が一般的に困難であることなどが挙げられる。しかし、犯罪を研究対象とする場合、犯罪者の生活史をたどる

前提として、ある一定場面で加害者が被害者に加害行動を与えたという事実、すなわち犯罪発生場面が存在するというところに第一に着目しなければならない。筆者らの関わる警察の犯罪捜査では、このような犯罪発生場面に関する問題は、本来、最初に重視されなければならない課題であるが、この種の研究がその必要性に対応するほど充分に行われてきたとは言えない。

##### 2 犯罪発生場面の構造

こうした犯罪発生場面の研究の必要性から筆者らは、これまでいくつかの研究を報告してきた(長澤 1994、1995、細江 1997)。犯罪発生場面の構造は、加害者、被害者、抑制者の動的な関係でとらえることができる。そのような場面で犯行を実際に生起させるためには、加害者が被害者、抑制者に対して加害者優位に場面を展開することが必要となる。この加害者優位に展開する手法を安倍(1978)は、犯行手口と考えた。それによると、犯行手口は、一定場面に加害者と被害者が対抗的に存在し、加害者が被害者に物理的な力を行使する暴力型、加害者が被害者に加害行動を誤認させ、それに協力させる詐欺型、加害者が被害者の存在しない場面を選択するか、被害者が存在しても被害者に加害行動を気づかせない手法を取る窃盗型に分けられる。

\* 岩手県警察本部科学捜査研究所専門研究員

このように、各犯行手口は、加害者が被害者に対していかにして加害者優位に場면을展開していくかという手法において、それぞれ異なっており、犯罪発生場面をとらえるためには、これらの手口を分けて見ていく必要がある。また、犯行者が犯行を生起させる過程、すなわち、加害者が被害者、抑制者に対して加害者優位に立てるようにする過程は、犯行者の経験や技術のレベルにより相違すると考えられる。犯行の技術を必ずしも学習しているとは限らない初発型の犯行者の場合、前もって準備をしていなくても容易に犯行を実行できる場面や犯行を誘発するような場面にたまたま遭遇し、犯行に至る。しかし、この初発型では、犯行が発覚したり、抑止される可能性も高くなる。これに対して、犯行を効果的に遂行しようとする常習者の場合、自らの手法に応じた場면을意図的に選び出したり、形成したりして、犯行に至ることが考えられる。このように、各手口ごとに、加害者優位な展開を作り出す手法には、初発型の者と常習者との間に一般的に違いが見られることから、犯罪発生場面は、これらの手法の相違にも対応させて見ていく必要もある。

筆者らは、以前、犯罪発生場面に関して、窃盗型手口のうち、窃盗常習者による侵入盗（空き巣ねらい）を対象とし、加害者が被害者に対応する過程を中心に検討した（長澤 1995）。そこで取り上げた常習者は、無施錠の家屋を一貫して選択する者、施錠家屋であっても特殊な技術を用いてガラス窓を破り、錠を外す者、錠を破壊する者等犯行技術に深化の見られる者であった。このような技術の深化した窃盗常習者の場合、犯罪発生場面の全体的過程は、加害者が被害者、第三者等対抗者に確認されないような、かつ被害物の物色、窃取等の行動の実行を容易にするような状況を選定する過程（以下、「状況選定過程」とする）と、加害者が家屋内への侵入や被害物の物色、窃取等の行動を実行する過程とに分けて考えることができる。前記の空き巣ねらいは、一定場面に被害者の存在しない場面を選択する手口であり、その多くは、加害者が被害物の存在を家屋の外部から確認できないものである。したがって、犯行遂行には、前述の対抗者に確認されないような犯行対象地域・家屋の選定過程と、家屋内で被害物の物色、窃取等の行動を実行する過程のそれぞれが重要となる。本論で対象とする自動車から金品を窃取する車上ねらいは、空き巣ねらいと同様に一定場面に被害者の存在しない場面を選択する手口である。しか

し、車上ねらいは、加害者が車両の外部から被害物の存在を容易に確認できる点で、その存在の確認が困難な空き巣ねらいとは場面の構造が異なっている。したがって、このような特徴を持つ車上ねらいでは、対抗者に確認されないような、かつ被害物の窃取を容易にするような状況選定過程そのものが犯行遂行において重要になると言える。こうした状況選定過程の分析は、窃盗常習者の犯行の着手を容易にする状況の特徴を明らかにすることにつながり、犯罪捜査・予防的見地から必要と言える。このことから、本研究では、窃盗常習者による犯罪発生場面の全体的過程のうち状況選定過程を中心に取り上げ、具体的には車上ねらいを対象とする。

### 3 車上ねらいの状況選定過程研究に必要な視点

車上ねらいでは、前述のように、一定場面に対抗者が存在しないこと、車両の外部からの被害物の存在を容易に確認できることの各条件の存在する状況が基本的に選定される。この状況選定過程に研究の視点を置く場合には、犯行実行に関わる条件としての犯行対象車両を含めたより広い範囲の都市、街区、街路の性質から車両の位置する特定の場所の性質について、詳細に検討していく必要があり、これらのことに触れた研究がいくつかある。(1)都市、街区、街路の性質に視点を置いた研究：都市・街区レベルでは、犯罪を誘引する条件が都市部に多く存在し(Shaw,C.R. and McKay, H.D. 1942、柏熊・松浦 1969、松本 1978)、具体的な性質として、匿名性の高い都市部で犯罪が発生しやすいことが報告されている(清永 1982、岩田 1987、星野 1992)。車上ねらいに関しても、匿名性の高さが犯行実行を容易にするとされており(Zimbardo,P.G.1969、財社会安全研究財団 1993a)、これらに加えて、街が未整備で、大小の街路により細分化されている等迷路状になっており、逃げやすいこと、大きな通りが中心だが裏通りが多く存在し、人通りが少なく、発見されにくいことも指摘されている(財社会安全研究財団 1993 a)。また、車上ねらいの発生場所での照明設備の不備を含めた夜間の視認性の低さを犯行実行を容易にする条件として挙げている報告もある(Eck,J.E. and Spelman,W. 1992、Poyner,B. 1992)。街路レベルでは、街路の形状において、曲がり角、カーブが形成されている等人の視線を振り切りやすいこと、つまり、逃げやすいことが路上犯罪を容易にする条件とされている(清永・伊藤 1988、財社会安全研究財団1993a、1993b)。

(2)車両および車両の位置する特定場所の性質を置いた研究：特定場所レベルでは、車上ねらいを含めた路上犯罪全般に関して、人の視線を感じさせないこと、すなわち、監視性が低いことや(Newman,O. 1972、Poyner,B. 1992)、植栽、ブロック塀、他の車両等死角となるものが存在すること (Poyner,B. 1992、(財)社会安全研究財団 1993a)、空き地、駐車場に一般的に見られるように人が自由に入出入り可能で、不審者であるか否かの判別がつきにくいこと (Newman,O. 1972、Eck, J.E. and Spelman,W. 1992、(財)社会安全研究財団 1993 a)、車両の位置する場所が通りに近く、近づきやすいこと (Eck,J.E. and Spelman,W. 1992) が犯行実行を容易にする条件として挙げられている。また、車両そのものに関しては、被害物となるものが多く存在すること (清永・伊藤 1988、Eck,J.E. and Spelman,W. 1992、(財)社会安全研究財団 1993a)、都市レベルでの犯罪発生件数の多さに関連して、無施錠の車両の多さ(星野 1992)、同じ路上犯罪である自転車盗については、無施錠であること (松本 1982) も指摘されている。

以上の諸研究から、犯行実行を容易にする諸条件として、都市、街区、街路レベルでの匿名性の高さ、迷路性の高さ、人通りの少なさ、視認性の低さ、車両および車両の位置する特定場所レベルでの監視性の低さ、死角性の高さ、判別性の低さ、通りへの近さ、多くの被害物および無施錠車両の存在等が挙げられ、車上ねらいの状況選定過程の研究では、これらの条件をもとに対象事例を整理することが必要と言える。

ところで、本論では、犯罪発生場面に研究の視点を置くものの、発生場面は、前述のように、加害者の質と対応させて研究されるべきであり、この条件については可能な限り等質なものにしておく必要がある。また、犯行に関わる状況を検討するためには、現地観察による調査が可能で、しかも窃盗が多発する地域・場所に対象を限定する必要がある。このことから、ここでは、過去に窃盗の犯罪歴を有する者による犯行で、窃盗の発生件数の多い地域内で発生した車上ねらいの事例を対象とする。

#### 4 車上ねらいの状況選定過程

前述の犯罪発生場面の構造や状況選定過程研究に必要な視点の項で触れたように、本研究で対象とする車上ねらいの状況選定過程では、加害者が被害者や第三者等対抗者と対抗しないように、街区から特定の場所にある車両を選定し、車両内の被害物に接近していく

ことが考えられる。この過程の初期の段階で、加害者は、匿名性の高さ、迷路性の高さ、人通りの少なさ、視認性の低さ等対抗者に確認されない、かつ、確認された(確認されそうになった)場合でもその場面から容易に離脱可能な条件を持つ街区、街路を選定する。次に、犯行対象車両を具体的に選定する段階に入り、加害者は、監視性の低さ、死角性の高さ、判別性の低さ、通りへの近さ等対抗者に確認されない、かつ、容易に接近可能な条件を持つ特定の場所を選定する。特定場所の選定の後に、加害者は、被害物が存在するか否かを車両の外部から確認する。被害物を確認できれば、加害者は、それへの接近を試みる。ここでは、施錠ドアのような犯行抑制物への対応が問題となり、抑制物が存在する場合、加害者は、抑制力を減殺させるが、一方で、このような技術を持たない加害者は、これとは別に抑制物の存在しない場面、つまり、無施錠ドアの車両を選定し、被害物への接近に至るものと考えられる。本報告では、これらの過程で車上ねらいの犯行者が、状況と具体的にどのように関わっていくかについて検討し、その際の分析の枠組みとして、前記のように街区から特定場所、車両へ接近し、逃走するという視点に立ち、街区、街路、特定場所、車両の各レベルを設定する。

## II 目的と方法

### 1 目的

本研究は、車上ねらいの実行を容易にする状況の選定過程に焦点を当て、具体的には、その犯行の生起に関わりのある状況の特徴について分析、検討することを目的とするものである。また、この特徴の分析結果から、環境的な条件の整備による犯罪予防策や捜査場面での犯行現場の特徴の見方を示すことを試みるものである。

### 2 方法

分析の資料には、1987年から1995年までの間に岩手県内の A 市およびその郊外で発生した車上ねらいのうち、実際の犯行現場の観察が可能なもの20事例を用いた。事例は、すべて過去に窃盗の犯罪歴のある者20名による犯行で、方法としては、現場の観察および警察資料の調査により行った。また、分析の枠組みについては、前記の(1)街区レベル、(2)街路レベル、(3)特定場所レベル、(4)車両レベルとし、各レベルごとに対象事例を整理した(図1参照)。

なお、対象となったA市は、例年、岩手県内で窃盗を含めた犯罪発生件数の多い地域である。

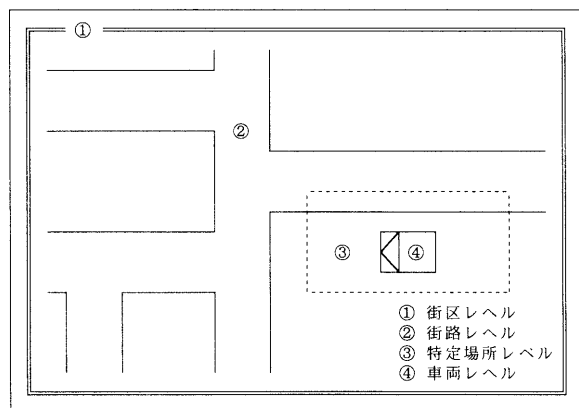


図1 分析の枠組み

### III 結果と考察

#### 1 車上ねらいの事例分析

前記の分析の枠組みをもとに車上ねらいの事例を分析し、犯行実行を容易にする状況に見られる諸条件について検討した(表1-A~1-D参照)。(1)街区レベル：  
 ①街区レベルでは、まず、人通りが少ないことが犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中17事例)。例えば、日中の住宅街(事例8、9、12、16~18)では、居住者は、外出し、勤務先、学校等にいることが多いことから、街区内の人通りが少なくなることが考えられる。また、宵、中夜、深夜、未明の住宅街(事例1、2、4、6、14、15)、農村地域(事例11、13、20)であれば、居住者は、在宅しており、外に出ていることが少なく、夜間のビル街、市街地(事例3、5)においても、そこで勤務している人は、帰宅しており、その地区の居住者も在宅していることから、一層、人通りは少なくなり、人に見られないで街区内に侵入することが可能になると考えられる。②また、匿名性が高いことも犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中17事例)。例えば、一般住宅とマンション、アパート等からなる住宅街、新興住宅街(事例6、8、9、14、17)では、居住者の転出、転入が多く、また、飲食店、パチンコ店、病院、事務所等が混在する住宅街やビル街、商店街(事例1~5、7、10、12、15、16、18、19)では、居住者以外の人の出入りが多いことから、匿名性が高くなり、部外者でも不審に思われないうちに街区内に侵入することが可能と考えられる。

③さらに、街区が大小の街路により細分化されている等街区の迷路性が高いことも犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中18事例)。街区が街路で区切られ、細分化され、迷路状になっていれば、人の視線を容易に振り切ることが可能になると考えられる(事例1~10、12~19)。④街区内の視認性が低いことも犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中20事例)。多数の樹木、建物等遮蔽物の存在(事例1~5、7~20)、夜間、街灯が少なく、全体的に暗いこと(事例1、3~6、11、13~15、20)等街区内の視認性が低くなれば、人に見られることなく、街区内へ侵入できると考えられる。(2)街路レベル：①街路レベルでは、まず、交通の便の良い主要な街路に近いことが犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中20事例)。交通量の多い表通りに近い通り(事例1~6、8、9、11、12、14~18、20)、交通量の多い表通りそのもの(事例7、10、13、19)では、多様な交通手段の選択が可能になることから、対象車両への接近やそこからの離脱が容易になると考えられる。②また、街区内の街路の形状において曲がり角、カーブが多いことも犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中20事例)。街区内の街路が交差し、曲がり角が多く形成されていたり、街路の形状がカーブ状になっていれば、街区内で人の視線を容易に振り切ることが可能と考えられる。③さらに、街路の領域性が不明確であることも犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中20事例)。公道のような一般の街路であれば、人が誰でも自由に通行できることから、接近が容易になると考えられる。(3)特定場所レベル：  
 ①特定場所レベルでは、人が自由に出入り可能で、不審者であるか否かの判別がつきにくいことが犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中17事例)。例えば、マンション、社員寮の駐車場(事例1、4~6、15)では、居住者の転出、転入が多いことから、居住者相互が無関心になりやすく、部外者であるか否かの判別がつきにくくなると考えられる。また、パチンコ店、官公署、スーパー、病院、店舗の駐車場(事例2、7、10、13、16、18、19)では、不特定多数の人の出入りがあり、空き地(事例17)、街路上(事例8、9、12、14)でも、人が自由に行き来できることから、不審者であるか否かの判別がつきにくいと考えられる。②また、特定場所が街路沿いに位置するか、街路上であることが犯行実行を容易にする条件として挙げられ

車上ねらいの事例を用いた犯罪発生場面の基礎的研究

表1-A 事例表(1)

事例No	加害者の属性	発生日・時間・場所	犯行実行を容易にする状況の特徴			
			街区レベル	街路レベル	特定場所レベル	車両レベル
1	21歳、無職、男性、窃盗犯歴5件有り	8X年12月、2時頃、M市O地内のマンション駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の中心部</li> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り(時間帯深夜)</li> <li>・一般住宅、マンション、学校、飲食店等からなる住宅街</li> <li>・大きな河川がある</li> <li>・街区が幅の狭い街路で不規則に区切られ、細分化されている</li> <li>・街区内に樹木が見られる</li> <li>・街区内にビルが建ち並んでいる</li> <li>・街灯が少なく暗い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・大小の街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路沿いにマンションがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション駐車場</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路沿いにマンションがある</li> <li>・周囲にマンション住人の多数の駐車車両がある</li> <li>・マンション1階部分が駐車場である</li> <li>・マンションの両隣に別のマンションと民家が隣接し、別のマンションの間にはブロック塀がある</li> <li>・マンションの街路向かいに学校プールがあり、プールの周囲にはフェンスがある</li> <li>・人通りがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転席付近に被害物(カーコンボ)がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・被害者がマンション近くの店で稼働中で、その他の人もいない</li> <li>・施錠した普通乗用自動車(→工具をドアの鍵穴に差し込み開錠する)</li> </ul>
2	40歳、トラック運転手、男性、窃盗犯歴1件有り	8X年6月、19時頃、M市K地内のパチンコ店駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市中心部からやや外れた地域</li> <li>・交通量の多い幹線道路に近い通り</li> <li>・一般住宅、アパート、パチンコ店等からなる住宅街</li> <li>・鉄道が通っている</li> <li>・街区が幅の狭い街路で不規則に区切られ、細分化されている</li> <li>・街区内に街路樹、樹木が多く見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い幹線道路に近い通り</li> <li>・起伏のある直線状の街路</li> <li>・パチンコ店周辺において幅の狭い街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・交通量の多い片側2車線の街路沿いにパチンコ店がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パチンコ店駐車場</li> <li>・交通量の多い片側2車線の街路沿いにパチンコ店がある</li> <li>・周囲に多数の駐車車両がある</li> <li>・駐車場と東隣隣家との間に樹木が多く見られる</li> <li>・駐車場が広く、被害地点とその周辺の家屋との距離が離れている</li> <li>・駐車場の西側に鉄道があり、両側の少し離れた所にアパートがある</li> <li>・人通りが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内に被害物(現金入バッグ)があり、車外から確認できる</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・被害者がパチンコ店稼働中で、その他の人もいない</li> <li>・施錠した車両(→車の窓ロックを道具を使用して開錠する)</li> </ul>
3	20歳、パチンコ店店員、男性、窃盗犯歴3件有り	9X年8月、1時頃、M市M地内の一般住宅1階車庫内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の中心部</li> <li>・交通量の多い駅前表通りに近い裏通り(時間帯深夜)</li> <li>・一般住宅、事務所、飲食店、ホテル等からなるビル街</li> <li>・鉄道が通っている</li> <li>・街区が大小の街路で不規則に区切られ、細分化されている</li> <li>・街区内にビルが建ち並んでいる</li> <li>・街灯が少なく暗い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い駅前表通りに近い裏通り</li> <li>・大小の街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで、中央線のない、距離の短い街路沿いに家屋がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路沿いの一般住宅車庫</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで、中央線のない、距離の短い直線状の街路沿いに家屋、車庫がある</li> <li>・家屋の1階の一部が車庫である</li> <li>・家屋の街路向かい西方に大きな事務所ビル、南方に大きなホテルがある</li> <li>・人通りがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車のダッシュボード内に被害物(通帳、印鑑等)がある</li> <li>・家屋の1階の一部が車庫である</li> <li>・被害者が自宅で就寝中で、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の軽四輪自動車</li> </ul>
4	21歳、無職、男性、窃盗犯歴5件有り	9X年10月、4時頃、M市W地内のマンション駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市中心部</li> <li>・表通り(時間帯未明)</li> <li>・一般住宅、アパート、マンション、病院、商店等からなる住宅街</li> <li>・街区が大小の街路で区切られ、細分化されている</li> <li>・街区内に街路樹、樹木が多く見られる</li> <li>・街灯が少なく暗い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表通り</li> <li>・大小の街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・片側1車線の直線状の街路(歩道付き)沿いにマンションがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション駐車場</li> <li>・片側1車線の直線状の街路沿いにマンションがある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・マンションの1階部分が駐車場である</li> <li>・マンション駐車場がフェンスで囲まれており、小屋、樹木等もある</li> <li>・マンション前の歩道と街路との間に街路樹がある</li> <li>・マンション向かいの病院が塀で囲まれており、その塀の前の歩道と街路の間に樹木がある</li> <li>・人通りがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内に被害物(現金、通帳、印鑑)がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・被害者が自宅マンションで就寝中で、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の普通乗用自動車</li> </ul>
5	34歳、無職、男性、窃盗犯歴4件以上有り	9X年11月、23時頃、M市K地内のマンション駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市中心部</li> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り(時間帯中夜)</li> <li>・一般住宅、事務所、マンション、駐車場、給油所等からなる市街地</li> <li>・街区が大小の街路で区切られ、細分化されている</li> <li>・街区内に樹木が見られる</li> <li>・街区内にビルが建ち並んでいる</li> <li>・裏通りは街灯が少なく暗い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・大小の街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路沿いにマンションがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション駐車場</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路沿いにマンションがある</li> <li>・周囲にマンション住人の多数の駐車車両がある</li> <li>・駐車場出入口に門があり、その奥のマンション1階部分と前方が駐車場である</li> <li>・門灯が薄暗い</li> <li>・マンションに隣接ビル、別のマンション、古い木造の事務所が隣接し、事務所との間には、樹木が多数見られる</li> <li>・街路向かいにマンション、ビルが建ち並んでいる</li> <li>・人通りがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車のダッシュボード内に被害物(現金)がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・被害者が就寝中で、その他の人もいない</li> <li>・施錠した外国産普通乗用自動車(→助手席の窓を石で割る)</li> </ul>

表1-B 事例表(2)

事例No	加害者の属性	発生年月日・時間・場所	犯行実行を容易にする状況の特徴			
			街区レベル	街路レベル	特定場所レベル	車両レベル
6	23歳、パチンコ店店員、男性、窃盗犯歴3件有り	9X年5月、22時頃、M市K地内のマンション駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市中心部からやや外れた地域</li> <li>・交通量の多い幹線道路に近い裏通り(時間帯中夜)</li> <li>・一般住宅、アパート、マンション、学校等からなる住宅街</li> <li>・街区が幅の狭い街路で区切られ細分化されている</li> <li>・街灯が少なく暗い</li> </ul> <p>→人通りの少なさ、匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い幹線道路に近い裏通り</li> <li>・大小の街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・普通乗用車のすれ違いが可能な広さで中央線のない街路沿いにマンションがある</li> </ul> <p>→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション駐車場</li> <li>・普通乗用車のすれ違いが可能な広さで街路沿いにマンションと駐車場がある</li> <li>・周囲にマンション住人の駐車車両がある</li> <li>・マンションが高さ2m程度のフェンスで囲まれている</li> <li>・マンションと隣隣のアパートとの間に高さ2m程度のフェンスがあり、北隣の民家との間にも同じ様に高さ2m程度のフェンスや樹木が見られる</li> <li>・マンションの向かいが駐車場である</li> <li>・人通りが少ない</li> </ul> <p>→判別性の低さ、街路への近さ、死角性の高さ、監視性の低さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内に被害物(背広の内ポケットにある現金、切符)があり、車外から確認できる</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・被害者が自宅マンションで就寝中で、その他の人もいない</li> <li>・施錠した普通乗用自動車(→工具をドアの鍵穴に差し込み開錠する)</li> </ul> <p>→被害物の存在(確認可能)、死角性の高さ、対抗者の不在、施錠ドアの開錠</p>
7	40歳、無職、男性、窃盗犯歴5件以上有り	9X年7月、9時頃、M市U地内の官公署駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の中心部</li> <li>・交通量の多い表通り</li> <li>・官公署、マンション、ホテル、飲食店が立ち並ぶビル街</li> <li>・大きな河川がある</li> <li>・街区が大小の街路で区切られ、細分化されている</li> <li>・街区内に高いビルが建ち並んでおり、街路樹も多数見られる</li> </ul> <p>→匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い表通り</li> <li>・官公署の周辺において大小の街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・交通量の多い片側2車線の街路と片側1車線で形成される丁字路沿いに官公署がある</li> </ul> <p>→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官公署駐車場</li> <li>・片側1車線の表通り街路沿いに官公署があり、その裏側に駐車場がある</li> <li>・周囲に多数の駐車車両、樹木がある</li> <li>・官公署裏の駐車場と官公署の間および同駐車場と河川との間に樹木がある</li> <li>・官公署裏の駐車場沿い東側に大きな河川があり、川向かいに電力会社のビルがある</li> <li>・人通りが少ない</li> </ul> <p>→判別性の低さ、街路への近さ、死角性の高さ、監視性の低さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内の座席上に被害物(現金入りバッグ)がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・被害者が荷物の配達中で、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の車両</li> </ul> <p>→被害物の存在(確認可能)、死角性の高さ、対抗者の不在、無施錠ドアを開ける</p>
8	17歳、無職、男性、窃盗犯歴5件有り	9X年10月、10時頃、M市B地内の一般住宅前路上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市中心部からやや外れた地域</li> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・一般住宅、アパート等からなる住宅街</li> <li>・大きな河川がある</li> <li>・街区が幅の狭い街路で区切られ細分化されている</li> <li>・街区内に多くの樹木が見られる</li> </ul> <p>→人通りの少なさ、匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・幅の狭い街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない直線状の街路沿いに家屋がある</li> </ul> <p>→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般住宅前の普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路上</li> <li>・家屋前やその隣家前にブロック塀、樹木がある</li> <li>・人通りが少ない</li> </ul> <p>→判別性の低さ、街路への近さ(街路上)、死角性の高さ、監視性の低さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内の座席上に被害物(現金入りショルダーバッグ)がある</li> <li>・家屋と家屋前の街路上の車両との間にブロック塀、樹木がある</li> <li>・被害者が仕事で車両から離れ、その他の人もいない</li> <li>・ドア開放の車両</li> </ul> <p>→被害物の存在(確認可能)、死角性の高さ、監視性の低さ、対抗者の不在、開放状態のドアを開ける</p>
9	31歳、飲食店店長、男性、窃盗犯歴2件有り	9X年1月、15時頃、M市N地内の保育園前路上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の郊外</li> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・一般住宅、アパート、学校等からなる住宅街</li> <li>・街区が幅の狭い街路で区切られ細分化されている</li> <li>・街区内に水田、畑地、樹木が一部見られる</li> </ul> <p>→人通りの少なさ、匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・幅の狭い街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない丁字路状の街路の突き当たり保育園がある</li> </ul> <p>→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園前の普通乗用車がすれ違い可能な中央線のない街路上</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない丁字路状の街路の突き当たり保育園がある</li> <li>・被害場所の保育園前の幅の狭い街路沿いの東側家屋とその街路との間に生け垣、樹木がある</li> <li>・同じ街路沿いの西側には学習塾と平屋建ての家屋がある</li> <li>・人通りが少ない</li> </ul> <p>→判別性の低さ、死角性の高さ、監視性の低さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内の座席上に被害物(現金入りバッグ)がある</li> <li>・家屋と家屋前の街路上の車両との間に生け垣がある</li> <li>・被害者が保育園に子供を迎えに行き、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の普通乗用自動車</li> </ul> <p>→被害物の存在(確認可能)、死角性の高さ、対抗者の不在、無施錠ドアを開ける</p>
10	24歳、理容店見習い、男性、窃盗犯歴4件有り	9X年2月、14時頃、M市Tコ店の駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の郊外</li> <li>・交通量の多い表通り</li> <li>・一般住宅、アパート、事務所、パチンコ店からなる住宅街</li> <li>・街区が大小の街路で不規則に区切られ、細分化されている</li> <li>・街区内に樹木が見られる</li> </ul> <p>→匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い表通り</li> <li>・大小の街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・交通量の多い表通り片側1車線の街路(歩道付き)沿いにパチンコ店と駐車場がある</li> </ul> <p>→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パチンコ店駐車場</li> <li>・表通り片側1車線の街路沿いに駐車場がある</li> <li>・周囲に多数の駐車車両がある</li> <li>・パチンコ店の駐車場とパチンコ店との間に小さな河川があり、その河川沿いに樹木がある</li> <li>・交通量の多い表通り片側1車線の街路(歩道付き)沿いにパチンコ店と駐車場の西隣にスーパーの事務所(ビル、裏手)、北隣に空き家のプレハブがある</li> <li>・人通りが少ない</li> </ul> <p>→判別性の低さ、街路への近さ、死角性の高さ、監視性の低さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車のダッシュボード、小物入れに被害物(現金、宝くじ)がある</li> <li>・被害者がパチンコ遊戯中で、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の車両</li> </ul> <p>→被害物の存在(確認可能か不明)、対抗者の不在、無施錠ドアを開ける</p>

車上ねらいの事例を用いた犯罪発生場面の基礎的研究

表1-C 事例表(3)

事例No	加害者の属性	発生日月・時間・場所	犯行実行を容易にする状況の特徴			
			街区レベル	街路レベル	特定場所レベル	車両レベル
11	47歳、無職、男性、窃盗犯歴2件有り	9X年3月、19時頃、M市T地内の公民館駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の郊外</li> <li>・交通量の多い幹線道路に近い裏通り(時間帯)</li> <li>・農家点在山沿いの農村地域</li> <li>・街区が未整備で、街区内に水田畑地、樹木が多く見られ、幅の狭い街路が数本通っている。</li> <li>・街灯が少なく暗い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い幹線道路に近い裏通りで、街路が緩やかなカーブを形成している</li> <li>・公民館から少し離れた北方において幅の狭い街路が交差し、曲がり角が形成されている</li> <li>・緩やかなカーブを形成している片側1車線の街路沿いに公民館がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館駐車場</li> <li>・緩やかなカーブを形成している片側1車線の街路沿いに公民館がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・公民館周辺や公民館の向かいの家屋の周囲に樹木が多く見られる</li> <li>・人通りがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内の後部座席上に被害物(通報、印鑑入りのバッグ)がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・被害者が公民館での集会に参加し、その他の人もいない</li> <li>・施錠した軽自動車(→後部座席ガラス窓を工具で割る)</li> </ul>
			→人通りの少なさ、視認性の低さ	→主要な街路への近さ、カーブ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ	→街路への近さ、死角性の高さ、監視性の低さ	→被害物の存在(確認可能)、死角性の高さ、対抗者の不在、施錠ドアの開錠
12	19歳、無職、男性、窃盗犯歴1件有り	9X年3月、10時頃、M市T地内の一般住宅前路上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の郊外</li> <li>・交通量の多い幹線道路に近い裏通り</li> <li>→一般住宅、病院、公園等からなる山沿いの住宅街</li> <li>・街区が幅の狭い街路で区切れられ細分化されている</li> <li>・街区内に樹木が多く見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い幹線道路に近い裏通り</li> <li>・幅の狭い街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路沿いに家屋がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般住宅前の普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路上</li> <li>・路上駐車車両が比較的多い</li> <li>・家屋前や隣家に生け垣、樹木がある</li> <li>・家屋の街路向かいが暗である</li> <li>・窓、カーテンを閉め切った状態の家屋が多く見られる</li> <li>・人通りがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内の座席上に被害物(現金入りバッグ)がある</li> <li>・家屋と家屋前街路上の車両との間に生け垣、樹木がある</li> <li>・被害者が家族と懇談中で、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の軽自動車</li> </ul>
			→人通りの少なさ、匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ	→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ	→判別性の低さ、街路への近さ(街路上)、死角性の高さ、監視性の低さ	→被害物の存在(確認可能)、死角性の高さ、対抗者の不在、無施錠ドアを開ける
13	59歳、ホテル作業員、男性、窃盗犯歴1件有り	9X年5月、19時頃、T村S地内のパチンコ店駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の郊外</li> <li>・交通量の多い幹線道路沿い</li> <li>・農家、事務所、パチンコ店等点状の農村地域(時間帯)</li> <li>→街区(住宅地、水田)が未整備で大小の街路で不規則に区切れられ細分化されている</li> <li>・街区内に樹木が見られる</li> <li>・薄暗い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い幹線道路沿い</li> <li>・大小の街路が交差し、曲がり角が形成されている</li> <li>・パチンコ店駐車場の片側2車線の幹線道路と裏側の普通乗用車のすれ違い可能な広さの街路が緩やかなカーブを形成している</li> <li>・前記の幹線道路、幅の狭い街路沿いにパチンコ店駐車場がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パチンコ店駐車場</li> <li>・片側2車線の幹線道路、普通乗用車のすれ違い可能な広さの街路沿いにパチンコ店駐車場がある</li> <li>・周囲に多数の駐車車両がある</li> <li>・駐車場の敷地が広い</li> <li>・駐車場の周囲に高さ1m程度のブロック塀と樹木がある</li> <li>・人通りが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内の座席上に被害物(現金入りバッグ)がある</li> <li>・隣に自己の駐車車両がある</li> <li>・被害者がパチンコ遊戯中で、その他の人もいない</li> <li>・施錠した普通乗用車(→工具で助手席の窓ガラスを破る)</li> </ul>
			→人通りの少なさ、迷路性の高さ、視認性の低さ	→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ	→判別性の低さ、街路への近さ、死角性の高さ、監視性の低さ	→被害物の存在(確認可能)、死角性の高さ、対抗者の不在、施錠ドアガラスを大きく破る
14	18歳、電工、男性、窃盗犯歴3件有り	93年6月、0時頃、S町N地内の一般住宅前路上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の郊外</li> <li>・交通量の多い幹線道路に近い裏通り(時間帯深夜)</li> <li>→一般住宅、保育園、グラウンド等からなる山沿いの住宅街</li> <li>・街区が幅の狭い街路で区切れられ細分化されている</li> <li>・街区内に樹木が多く見られる</li> <li>・街灯が少なく暗い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い幹線道路に近い裏通り</li> <li>・幅の狭い街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路沿いに家屋がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般住宅前の普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路上</li> <li>・家屋の街路向かいに保育園、グラウンドがある</li> <li>・家屋の周囲、街路向かいに樹木がある</li> <li>・人通りがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内に被害物(キャッシュカード入りの巾着袋)がある</li> <li>・被害者が住家で就寝中で、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の車両</li> </ul>
			→人通りの少なさ、匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ	→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ	→判別性の低さ、街路への近さ(街路上)、死角性の高さ、監視性の低さ	→被害物の存在(確認可能か不明)、対抗者の不在、無施錠ドアを開ける
15	28歳、無職、男性、窃盗犯歴3件有り	9X年9月、23時頃、M市N地内の会社社員寮駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の郊外</li> <li>→表通りに近い裏通り(時間帯中夜)</li> <li>→一般住宅、社員寮、公園等からなる住宅街</li> <li>・街区が大小の街路で区切れられ、細分化されている</li> <li>→街区が丘陵地であり、街区内に樹木が多く見られる</li> <li>・街灯が少なく暗い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→表通りに近い裏通り</li> <li>・大小の街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・片側1車線街路沿いに寮がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社社員寮内駐車場</li> <li>・片側1車線街路沿いに寮がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・寮の周囲に樹木があり、街路向かいに林がある</li> <li>・寮の駐車場側の窓が小さい</li> <li>・人通りが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内に被害物(毛布)がある</li> <li>・被害者が就寝中で、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の軽四輪自動車</li> </ul>
			→人通りの少なさ、匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ	→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ	→判別性の低さ、街路への近さ、死角性の高さ、監視性の低さ	→被害物の存在(確認可能)、対抗者の不在、無施錠ドアを開ける

表1-D 事例表(4)

事例No	加害者の属性	発生日月・時間・場所	犯行実行を容易にする状況の特徴			
			街区レベル	街路レベル	特定場所レベル	車両レベル
16	28歳、土工、男性、窃盗犯歴5件有り	9X年2月、15時頃、M市M地内のスーパー駐車場有り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市中心部からやや外れた地域</li> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・一般住宅、会社社員寮、学校等からなる住宅街</li> <li>・街区が幅の狭い街路で区切られ、細分化されている</li> <li>・街区内に樹木が多く見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・幅の狭い街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路沿いに駐車場がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパー駐車場</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路沿いに駐車場がある</li> <li>・周囲に多数の駐車車両がある</li> <li>・駐車場と北側隣家との間に樹木が見られる</li> <li>・駐車場の南側、道路向かいの家屋の周囲に樹木が見られる</li> <li>・駐車場の西側の社員寮の窓が駐車場側に向いていない</li> <li>・人通りが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内の助手席上に被害物(現金入りのバッグ)がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・被害者が買物中、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の車両</li> </ul>
			→人通りの少なさ、匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ	→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ	→判別性の低さ、街路への近さ、死角性の高さ、監視性の低さ	→被害物の存在(確認可能)、死角性の高さ、対抗者の不在、無施錠ドアを開ける
17	53歳、無職、男性、窃盗犯歴1件有り	9X年7月、14時頃、M市M地内の工務店隣の空き地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市中心部からやや外れた地域</li> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・一般住宅、アパート等からなる住宅街</li> <li>・街区が幅の狭い街路で区切られ細分化されている</li> <li>・街区内に樹木が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・幅の狭い街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路沿いの角地に空き地がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工務店隣の空き地(草地)</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路沿いの角地に空き地がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・工務店空き地の道路向かいが空き地である</li> <li>・工務店空き地の道路向かい、東側の家屋前に樹木がある</li> <li>・工務店空き地の道路向かい、南側に工務店の倉庫があり、その窓が小さい</li> <li>・人通りが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内の座席上に被害物(セカンドバッグ)がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・被害者が工事現場で稼働中でその他の人もいない</li> <li>・無施錠のトラック</li> </ul>
			→人通りの少なさ、匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ	→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ	→判別性の低さ、街路への近さ、死角性の高さ、監視性の低さ	→被害物の存在(確認可能)、死角性の高さ、対抗者の不在、無施錠ドアを開ける
18	42歳、無職、男性、窃盗犯歴3件有り	9X年10月、日中、M市H地内の病院駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の中心部</li> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・一般住宅、アパート、事務所病院等からなる住宅街</li> <li>・街区が大小の街路で不規則に区切られ、細分化されている</li> <li>・街区内に樹木が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・大小の街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・病院駐車場が普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路沿いにあり、両街路に挟まれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院駐車場</li> <li>・普通乗用車のすれ違い可能な広さで中央線のない街路とすれ違いの不可能な広さの街路沿いに駐車場がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・駐車場の敷地が狭く、病院とビルに挟まれている</li> <li>・駐車場と病院の北側街路向かいの家屋との間に高さ2m程度のフェンスと樹木がある</li> <li>・駐車場側に面した病院の窓が小さく、すりガラスである</li> <li>・人通りが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内の座席上に被害物(現金入りのバッグ)がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・被害者が仕事で、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の車両</li> </ul>
			→人通りの少なさ、匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ	→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ	→判別性の低さ、街路への近さ、死角性の高さ、監視性の低さ	→被害物の存在(確認可能)、死角性の高さ、対抗者の不在、無施錠ドアを開ける
19	56歳、無職、男性、窃盗犯歴3件有り	9X年2月、12時頃、M市H地内の商店店舗前駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の中心部</li> <li>・交通量の多い表通り</li> <li>・一般住宅、マンション等混在の商店街</li> <li>・街区が大小の街路で区切られ、細分化されている</li> <li>・街区内にビルが立ち並んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い表通り</li> <li>・大小の街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・片側1車線の表通り街路を挟んで店舗、店舗駐車場がある</li> <li>・片側1車線表通り街路沿いの角地に店舗、店舗駐車場がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店店舗駐車場</li> <li>・片側1車線表通り街路沿いに駐車場がある</li> <li>・隣に駐車車両がある</li> <li>・店舗駐車場の道路向かい側に店舗があるが、店舗出入口付近に商品が陳列され、窓にポスターが貼られている</li> <li>・駐車場の西側に隣接するビル窓が小さい</li> <li>・駐車場側の裏通りは、人通りが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内の座席上に被害物(カメラ入りのリュック)がある</li> <li>・周囲に駐車車両がある</li> <li>・被害者が店内で買物中、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の車両</li> </ul>
			→匿名性の高さ、迷路性の高さ、視認性の低さ	→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ	→判別性の低さ、街路への近さ、死角性の高さ、監視性の低さ	→被害物の存在(確認可能)、死角性の高さ、対抗者の不在、無施錠ドアを開ける
20	51歳、無職、男性、窃盗犯歴2件有り	9X年6月、2時頃、M市N地内の一般住宅(農家)敷地内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部の郊外</li> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り(時間帯深夜)</li> <li>・農家点在の農村地域</li> <li>・街区が小さな街路で区切られている</li> <li>・街区内に水田、畑地、樹木が多く見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の多い表通りに近い裏通り</li> <li>・幅の狭い街路が交差し、曲がり角が多く形成されている</li> <li>・普通乗用車のすれ違い不可能な広さでカーブ状の街路沿いに家屋がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の敷地内</li> <li>・普通乗用車のすれ違い不可能な広さの街路沿いに家屋がある</li> <li>・家屋の周囲に水田、生け垣、樹木があり、街路向かいの家屋の前に畑地、樹木がある</li> <li>・街灯が少なく暗い</li> <li>・人通りがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内に被害物(現金のみ)があるが、車外から確認できない</li> <li>・被害者が自宅で就寝中で、その他の人もいない</li> <li>・無施錠の車両</li> </ul>
			→人通りの少なさ、視認性の低さ	→主要な街路への近さ、曲がり角の多さ、領域性の不明確さ	→街路への近さ、死角性の高さ、監視性の低さ	→被害物の存在(確認不可能)、対抗者の不在、無施錠ドアを開ける



る(20事例中20事例)。車両のある場所としての駐車場、空き地、家屋の車庫が街路沿いにあるか(事例1～7、10、11、13、15～20)、または、車両のある場所そのものが街路上(事例8、9、12、14)であれば、人が自由に通行可能となり、特定場所への侵入が容易になると考えられる。③さらに、特定場所の死角性が高いことも犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中20事例)。特定場所周辺の建物、ブロック塀、フェンス、樹木、生け垣、他の駐車車両等は、特定場所での死角を形成することから、人に見られないで特定場所に侵入することが可能と考えられる。④特定場所の監視性が低いことも犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中20事例)。特定場所周辺の人通りがない(少ない)こと(事例1～20)、特定場所に面した建物に窓がない(少ない)こと、窓のカーテンが閉め切られていること等(事例12、15～19)は、人の視線を感じさせないことから、特定場所への侵入が容易になると考えられる。(4)車両レベル：①車両レベルでは、まず、車外から車両内の被害物の存在を確認できること(20事例中14事例)が犯行実行を容易にする条件として挙げられる。②また、車両周辺において死角性が高いことが犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中16事例)。例えば、車両の周囲にある他の車両(事例1、2、4～7、11、13、16～19)、ブロック塀、樹木、生け垣等(事例8、9、12)、車両の収納されている車庫(事例3)は、車両に死角となる部分を作り出し、人に見られないで、車両に接近できると考えられる。③さらに、車両内や車両周辺に対抗者が存在しないことも犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中20事例)。例えば、夜間の場合、被害者が自宅で就寝していたり、自宅近くで稼働する等で車両から離れていれば、第三者等の対抗者も、日中と比較して存在しないことが多いことから、加害者は、人に見られないで車両へ接近できると考えられる。(事例1、3～6、14、15、20)。また、日中、夕方の場合でも、パチンコ、買い物、家族との懇談、仕事で一時的に車両から離れ、その場面に第三者も存在しなければ、加害者は、同様に人に見られないで車両へ接近できると考えられる(事例2、7～13、16～19)。④車両のドアが無施錠であることも犯行実行を容易にする条件として挙げられる(20事例中14事例)。車両のドアが無施錠であれば、犯行抑制物への対応技術の深度の浅い者でも、犯行を遂行できると考えられる(事

例3、4、7～10、12、14～20)。

## 2 加害者から見た車上ねらいの実行を容易にする状況についての検討

前記の事例分析より、街区、街路、特定場所、車両の各レベルにおいて、加害者から見た犯行実行を容易にする状況は、図2に示す通りである。(1)街区レベル：街区レベルでは、①人通りが少なく、被害者や第三者等対抗者に発見されないこと、②匿名性が高く、加害者と特定されないこと、③迷路性が高く、離脱、逃走が容易であること、④視認性が低く、対抗者に発見されないこと、離脱、逃走が容易であることが犯行実行を容易にする状況と考えられる。(2)街路レベル：街路レベルでは、①主要な街路に近く、接近や離脱、逃走が容易であること、②曲がり角、カーブが多く、離脱、逃走が容易であること、③領域性が不明確で、接近が容易であることが犯行実行を容易にする状況と考えられる。(3)特定場所レベル：特定場所レベルでは、①判別性が低く、加害者と特定されないこと、②特定場所が街路沿いか、街路上であり、車両への接近や車両からの離脱、逃走が容易であること、③死角性が高く、対抗者に発見されないこと、④監視性が低く、対抗者に発見されないことが犯行を容易にする状況と考えられる。(4)車両レベル：車両レベルでは、①車両の外部から被害物の存在を確認できること、②車両の周囲の死角性が高く、対抗者に発見されないこと、③車両内や車両周辺に対抗者が存在せず、発見されないこと、④車両のドアが無施錠であることが犯行実行を容易にする状況と考えられる。

以上のことから、車上ねらいでは、街区から車両の各レベルにおける「発見されない」、「加害者と特定されない」、「接近が容易である」、「離脱、逃走が容易である」、「被害物の存在を確認できる」、「車両のドアが無施錠である」の各条件の存在が加害者の犯行実行を容易にする状況と考えられる。

## 3 状況選定過程から犯行実行過程に至る段階についての検討

車上ねらいでは、「発見されない」、「加害者と特定されない」、「接近が容易である」、「離脱、逃走が容易である」、「被害物の存在を確認できる」、「車両のドアが無施錠である」の各条件の存在が犯行実行を容易にする基本的な状況と想定され、車上ねらいの発生場面の全体的過程のうち、こうした状況の選定過程が犯行遂行において重要な位置を占める。したがって、無施錠

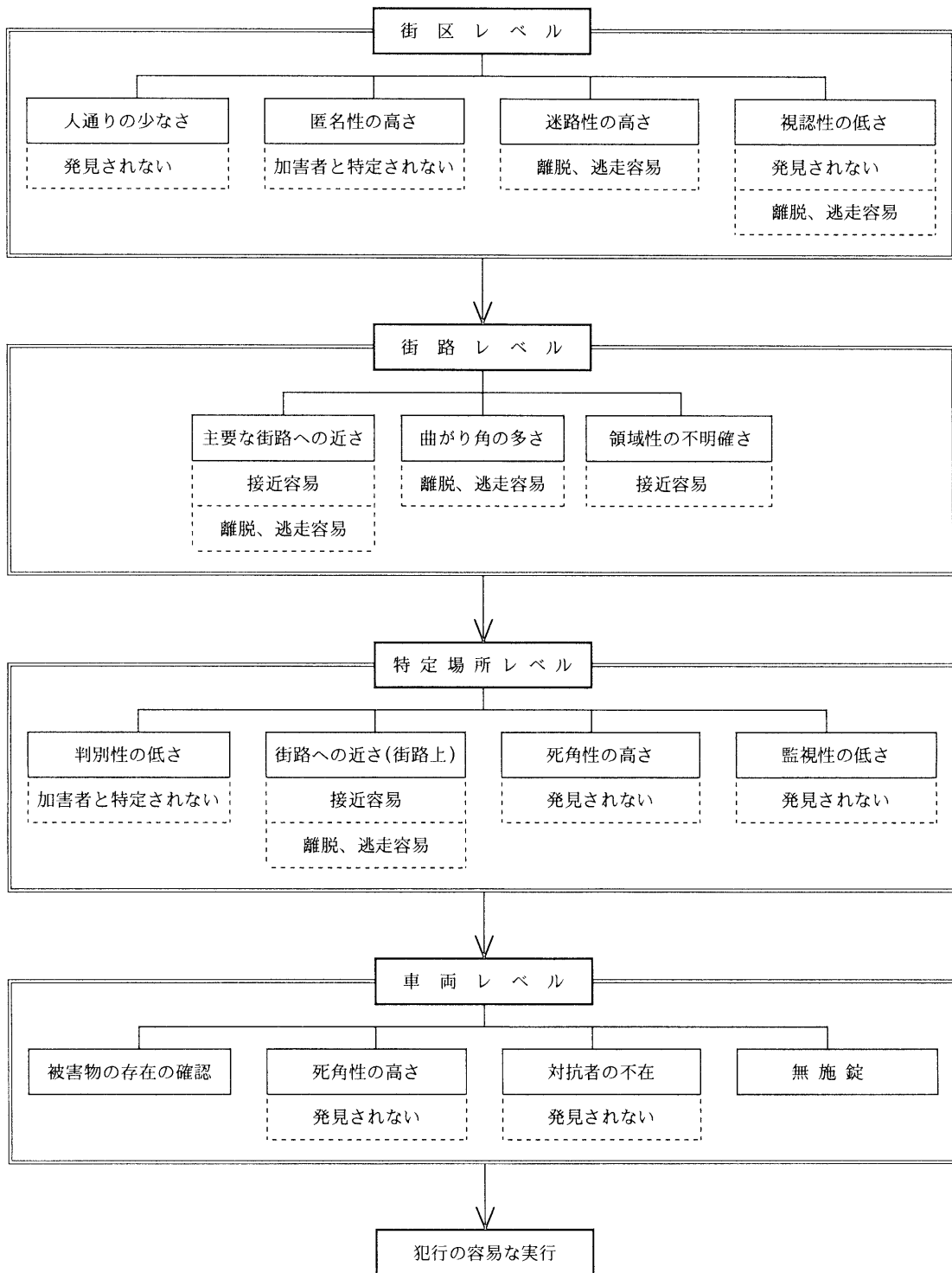


図2 車上ねらいの実行を容易にする状況の選定過程

ドア車両の選択が状況選定過程の最終段階となれば、被害物の窃取行動に直接つながることになる。一方、本事例(表1-A～表1-D参照)では、施錠車両のドアをガラス破り、錠のこじ開けなどで開錠するもの(以下「施錠ドア開錠実行型」とする)も6事例ある(事例1、2、5、6、11、13)。このことは、両者の犯行の質の差異として、次のように考えることができる。つまり、車上ねらいの加害者の多くは、被害物が存在し、しかも被害物が犯行抑制物(ドアの施錠)に守られていない車両を選択する。しかし、通常、無施錠ドアの車両に被害物が存在することは少なく、むしろ、被害物は、施錠という抑制物で守られていることが多いと考えられる。そこで、被害物をより効果的に窃取するためには、被害物のある車両の施錠ドアを開錠する技術が必要となる。すなわち、施錠ドア開錠実行型の者は、被害物を効果的に窃取するために、犯行抑制物への対応技術のより深化した者と考えられる。また、施錠ドア開錠実行型の場合でも、窓ガラスを割り、開錠するもの(3事例)と、合鍵以外の道具をドアの鍵穴に差し込み、特殊な技術で開錠するもの(3事例)とがある。これらの違いは、犯行技術の難易度や加害者が犯行の発覚を遅らせることを配慮しているか否かという点から説明できる。すなわち、窓ガラスを割り、開錠する手法の場合、開錠実行場面では、工具や石などを用い、強度の物理的力を加え、窓ガラスを破壊することから、その音や外側から見た窓ガラスの破壊された状態で早期の犯行発覚の可能性が高くなると言える。また、この技術的な難易度も、決して高くはないと言える。これは、筆者らが空き巣ねらいの研究で示した開錠手法のうち間接開錠に対応するものと言える(長澤1995)。これに対して、合鍵以外の道具をドアの鍵穴に差し込み、特殊な技術で開錠する手法の場合、開錠実行場面では、強度の物理的な力を加えないことから、その音により犯行が発覚する可能性は低くなる。また、通常、破壊を伴わないことから、犯行後にドアが閉められた状態であれば、車両の外側からの犯行の発覚は遅延する。さらに、当然のことながら、この技術的な難易度も高いと考えられる。この手法は、前記論文の空き巣ねらいの直接開錠に対応するものと言える(長澤1995)。ただし、空き巣ねらいの場合、直接開錠では、合鍵使用が中心であったが、本研究の車上ねらいの事例では、合鍵使用は見られない。

このように、両者の開錠方法の質的な差異について

は、車上ねらいの場合、窓ガラスを割り、開錠する間接開錠的な手法よりも、合鍵以外の道具を鍵穴に差し込み、特殊な技術で開錠する直接開錠的手法の方がその技術の深度において深化したものと考えられる。これらの点から、犯行抑制物への対応技術は、加害者の質的な差異を知る重要な手がかりの1つと言える。

#### IV まとめと今後の課題

車上ねらいの犯行遂行には、犯罪発生場面の全体的過程のうち犯行実行を容易にする状況の選定過程が特に重要となる。本研究では、車上ねらいの実行を容易にする状況の特徴について、街区、街路、特定場所、車両の各レベルごとに、加害者の視点から分析を行った。分析の資料には、1987年から1995年までの間に岩手県内で発生した車上ねらいのうち、犯行現場の調査が可能で、しかも窃盗の犯罪歴のある者による犯行であることが確認されている20事例を使用した。結果として、「発見されない」、「加害者と特定されない」、「接近が容易である」、「離脱、逃走が容易である」、「被害物の存在を確認できる」、「車両のドアが無施錠である」の各条件の存在が犯行実行を容易にする状況と考えられた。また、実行に至る最終段階で無施錠車両を選択するか、施錠ドアの車両においても開錠を試みるかにより同じ車上ねらいでも犯行の質が異なり、前者よりも後者が犯行技術の深度において深化したものであることが確認された。

このような結果は、前記の状況の特徴に関わる環境的条件の整備が犯罪予防につながることを示しており、また、犯罪捜査的に見ても、車上ねらいの現場を観察する際のポイントを示しているものと言える。具体的に言えば、連続の車上ねらいが発生し、同じ加害者による犯行か否かを判断する場合、現場のどのような特徴を見るかという材料を提供するものと考えられる。

今後は、本研究で必ずしも充分でなかった加害者の質(犯罪歴の有無、手口技術の巧拙等)と発生場面の特徴との対応について、より詳細に検討していくことが必要である。

#### 引用文献

- 安倍淳吉 1978 犯罪の社会心理学 新曜社  
Eck, J.E. and Spelman, W. "Theft from Vehicles in Shipyard Parking Lots." Clarke, R.V., ed 1992 Situational Crime

- Prevention: Successful Case Studies. New York Harrow and Heston. 164-173
- 岩田紀 1987 都会人の心理 環境心理学的考察 ナカニシア出版
- 柏熊岬・松浦孝作 1969 東京都における非行少年の生態学的研究 岩井弘融・遠藤辰雄・樋口幸吉・平野龍一編 日本の犯罪学 1 原因 I 東京大学出版会 369-385.
- 清永賢二 1982 市街地環境と都市犯罪 1. 犯罪発生に及ぼす近隣関係の影響について 科学警察研究所報告防犯少年編 23(1), 42-51.
- 清永賢二・伊藤信義 1988 なぜ防犯モデル道路は成功したか 都市コミュニティの形成と犯罪防止 (七・完) - 都市防犯研究会報告 警察学論集 41(3) 立花書房 135-149
- 星野周弘 1992 「都市における防犯対策」 都市コミュニティにおける犯罪予防 国際犯罪学会 - 東京国際ショナル・コースから - JURIS リポート別冊 No 1 財団法人都市防犯研究センター 123-126.
- 細江達郎 1997 生態学的心理学の方法による犯罪発生場面の基礎的研究 平成7年度～平成8年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2)) 07610103研究成果報告書
- 松本巖 1982 自転車盗の被疑者及び被害者の行動特性 科学警察研究所防犯少年編 23(1), 52-57.
- 松本良夫 1978 最近の東京における少年非行の生態学的構造 犯罪社会学研究 3, 18-39.
- 長澤秀利 1994 犯行発生場面への接近 - 侵入盗の事例による検討 - 岩手大学大学院人文社会科学部研究紀要 2, 73-80.
- 長澤秀利 1995 窃盗型犯罪の発生場面に関する研究 - 侵入盗を中心として - 犯罪心理学研究 33(1), 17-28.
- Newman, O 1972 Defensible Space: Crime Prevention Through Urban Design. New York: Macmillan. 湯川利和・湯川聰子訳 1976 まもりやすい住空間 - 都市設計による犯罪防止 - 鹿島出版会
- Poyner, B. "Situational Crime Prevention in Two Parking Facilities" Clarke, R. V., ed. 1992 Situational Crime Prevention Successful Case Studies New York: Harrow and Heston 174-184.
- Shaw, C.R. and McKay, H.D. 1942 Juvenile Delinquency and Urban Areas. The University of Chicago Press
- Sutherland, E.H. and Cressey, D.R. 1960 Principles of Criminology Part One J.B Lippincott Company. 平野龍一・所一彦訳 1964 犯罪の原因 - 刑事学原論 - 有信堂
- 財団法人社会安全研究財団 1993a 犯罪者の行動分析 総合防犯体系策定の為の基礎研究 - 路上利用犯 -
- 財団法人社会安全研究財団 1993b 神奈川県下を中心とした連続ひったくり事犯の環境設計論的分析 総合防犯体系策定の為の基礎研究(現地実査 No 3)
- Zimbardo, P.G. 1969 The Human Choice Individuation, Reason, and Order versus Deindividuation, Impulse, and Chaos Nebraska Symposium on Motivation, 17, 237-307